

対 策 計 画 書

届出者	住所	東京都港区高輪3-22-12	氏名	独立行政法人地域医療機能推進機構 理事長 尾身 茂
特定事業者の主たる業種		83医療業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		地域医療機能推進機構は全国57病院（大阪府3病院）のグループとして医療、リハビリテーションその他地域において必要とされる医療及び介護を提供する機能の確保を図り、もって公衆衛生の向上及び増進並びに住民の福祉の増進に寄与することを目的としています。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1)計画期間			
平成	29年	4月	1日～平成32年3月31日(3年間)
(2)基準年度における温室効果ガス総排出量		12,916 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量(平準化補正後)		14,059 t-CO ₂	
(3)温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排出量)		12,528 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		13,630 t-CO ₂	
選択	レ	目標削減率(排出量ベース)	3%
		目標削減率(原単位ベース)	0%
		目標削減率(平準化補正ベース)	3.1%

目標削減率に関する考え方

前回計画期間では、高性能機器及びコージェネ導入、冷暖房温度設定の管理、間引き照明等の取組みを実施した結果、8.5%の削減が進んだ。
 今回計画期間においても引き続きこれらの取組みを継続し、目標年度である平成31年度において、温室効果ガスを3%削減する目標を掲げる。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	0 t-CO ₂	吸収量による削減率	0.0%
-------------	---------------------	-----------	------

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース))を選択した場合のみ記入

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

大阪病院：省エネ委員会を推進し、不要照明の消灯などに取り組み、職員全体の意識向上に努めます。

大阪みなと中央病院：病院建替えを控え大きな設備投資は出来ませんが、省エネを職員に向け推進して参ります。

星ヶ丘医療センター：年間のエネルギー使用状況を常に把握し、省エネ推進関係者にて共有し、省エネルギーの啓発及び削減目標達成に向けた対策（不要照明の消灯など）に取り組めます。

対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪市淀川区宮原3-3-31 上村ニッセイビル13F	氏名	中外製薬株式会社 関西統括支店 佐藤綱則
特定事業者の主たる業種		32その他の製造業		
該当する特定事業者の要件			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		医薬品の製造販売		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1)計画期間			
平成	29年	4月	1日～平成 32年 3月 31日 (3年間)
(2)基準年度における温室効果ガス総排出量		277 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		279 t-CO ₂	
(3)温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		269 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		271 t-CO ₂	
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	3 %
		目標削減率 (原単位ベース)	0 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3 %

目標削減率に関する考え方

使用していない場所の電力はOFFにする。また、あまり使用していない場所の蛍光灯を間引くなどして節電する。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	0 t-CO ₂	吸収量による削減率	0.0 %
-------------	---------------------	-----------	-------

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

--

対策計画書

届出者	住所	東京港区芝1-7-17	氏名	中間貯蔵・環境安全事業株式会社 代表取締役 谷津 龍太郎
-----	----	-------------	----	---------------------------------

特定事業者の主たる業種 **88廃棄物処理業**

該当する特定事業者の要件	レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者
		大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者
		大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者

事業の概要

近畿二府四県に保管されているPCB廃棄物（トランス、コンデンサ、PCB油）を処理しています。処理施設は大阪市此花区北港白津にあり、東棟と西棟からなっています。西棟ではトランスやコンデンサ等の内部オイルに含有されるPCBを「真空加熱分離法」及び「溶剤洗浄法」により除去する前処理をし、東棟で分離したPCBを「触媒水素化脱塩素化分解法」で無害化しています。また、大阪市港区弁天に事務所があり、営業活動を行っています。

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
平成	29年	4月	1日～平成32年3月31日(3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		15,844 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量(平準化補正後)		17,208 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排出量)		15,370 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		16,700 t-CO ₂	
選択	レ	目標削減率(排出量ベース)	3%
		目標削減率(原単位ベース)	0%
		目標削減率(平準化補正ベース)	3%

目標削減率に関する考え方

当事業所は、操業開始より10年が経過し、効率的な操業により順調な成果を上げてきた。しかし、機器の老朽化やPCB処理にともなって発生する運転廃棄物の処理等で今後大幅な削減が見込めない状況にある。今後、①改修工事等により運転稼働時間(PCB処理)を増加させる、②腐食対策工事等で設備トラブルを減少させる、③運転廃棄物を適正に全社計画に従って処理することによりバッチ処理の回転率を上げる等により、排出量ベースで3%削減を目指す。

なお、平成23年度を基準とした前々回の対策計画では原単位ベースの目標削減率を設定していた。しかし、今後事業終了(平成33年)へむけて運転廃棄物処理の割合が増加する予定であり、原単位ベースの削減を達成することは困難と考へて平成26年度を基準とした前回の計画から排出量ベースの削減計画に変更し、今回も同様とした。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	0 t-CO ₂	吸収量による削減率	0.0%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

平成22年1月15日にISO14001認証を取得した。また、環境管理責任者である大阪事業所副所長が主催する「環境推進委員会」を3箇月に1回開催し、環境負荷削減に向けた活動を推進している。